



# メッシュ・サポート通信

## 2016年5月号

### 2016年4月の救急活動実績 計20件(累計1258件)

伊江村11件(うち4回は医師派遣)、名護市5件(うち1回は医療用物資搬送)  
本部町2件、東村1件、鹿児島県1件、

### 今月のありがとうございます。

多くの方々のご支援の中から、抜粋して掲載させていただいています。



- 4月 6日：沖縄ヤクルト株式会社様より500,000円のご寄付をお預かり致しました。 (写真中央)
- 4月 6日：株式会社マネジメント・ジャパン様より45,840円のご寄付をお預かり致しました。
- 4月 9日：アルフレッドJ.バドリス様より74,186円のご寄付をお預かり致しました。
- 4月 11日：冲天工様より30,000円のご寄付をお預かり致しました。
- 4月 12日：コミュニティショップまぐる様より6,741円の募金をお預かり致しました。 (写真左)
- 4月 12日：本部町中央公民館にてBLS講習を行いました。
- 4月 19日：オキナワマリオットリゾート&スパ様より151,795円のご寄付をお預かり致しました。 (写真右)

## 活動資金状況

保有残高:約1,110万円。約1.5ヶ月間(2016年6月中旬まで)の運航が可能です。

メッシュ救急ヘリの運営には月額約750万円の活動資金が必要です。(公的ドクターヘリ予算の約1/3にて運営)  
費用内訳:機体リース料15%,機体維持費10%,施設維持費5%,燃料費5%,運航スタッフ費用50%(35%は委託),法人運営費15%

年間活動費9,000万円。2017年3月までにあと7,140万円必要です。

## メッシュ・サポートへのご支援よろしくお願いします。

### 会員申込

県内各郵便局にて  
お申込みいただけます。

### 募金箱

リボウストア・TSUTAYA・メガネ一番・丸三ランドリー・京都屋クリニック  
りゅうせき商事AUショップ・はなまるうどん・わだや・  
(株)オープンパートナーズ・各店に設置。

### 公式フェイスブック



活動情報と動画を配信しています。「いいね!」を押してより多くの方々へのPRにご協力ください。

### 寄附・会費の銀行振込先

琉球銀行	名護支店	(普)	793542
沖縄銀行	名護支店	(普)	1625737
沖縄海邦銀行	名護支店	(普)	0662317
ゆうちょ銀行	01770-5-135567		

名義は「メッシュ・サポート 又は トクビ」メッシュ・サポート」となります。



飛行機にて沖縄から沖永良部へ患者搬送を行いました。

搬送の様子は「奄美新聞」および「琉球朝日放送」でも取り上げられました。患者様のご家族からは『おじいちゃんが島に帰って来たなんて本当なんですか？信じられない。ありがとう！』という感動のお言葉をいただきました。



2016年(平成28年)4月20日 水曜日 (8)

奄美新聞

同法人は、沖縄本島北部地域の医療問題を改善しようと、2007年から民間救急ヘリコプターを運航している。昨年、不特定多数の人から資金を募るクラウドファンディングで3500万円を超え

た。男性は、迎えに来た家族と再会し和泊町の朝戸病院に運ばれた。

【沖永良部】沖縄県名護市に事務局を置く認定NPO法人MESHサポート(小濱正博理事長)が19日、医療用飛行機を使い沖縄から男性患者(80代)を沖永良部空港に搬送した。

沖縄のNPO  
「医療用飛行機で退院患者搬送」  
奄美含む  
広域での運用拡大めざす

資金を集め医療用小型機を導入した。飛行機は、4人乗りで、駐機所(伊江空港 または那覇空港)から沖永良部まで40分以内で到着。奄美大島まで

給油なしで往復飛行が可能で、現在使用しているヘリの活動範囲(半径50キロほど)を超えた群島を含む広域での運用を目指している。

この日、容体の安定した患者を地元の病院に移す「下り搬送」が行われた。午前11時ごろ、飛行機が到着。男性患者は救急車に運び込まれ、帰りを待っていた家族は「良かったね」と声を掛けた。患者の娘(40)は「船だと容体が急変した時に私達では対処できない

か」と話した。同法人の塚本裕樹事務局長は「沖縄に運ばれた離島の患者は、安全面やコストの問題から地元に戻れない場合があった。飛行機には医療スタッフも同乗しているのだから、安心して搬送できる」と語った。同法人では、飛行機運用の財源確保のため寄付を募っている。和泊町の朝戸病院と知名町の徳洲会病院に募金箱が設置されている。



医療用飛行機を使い沖縄から下り搬送が行われた。和泊町、沖永良部空港